

POWER FILE★1143



自然とふれあい、琵琶湖で遊ぶ2DAYS KBS京都ラジオも、連日会場から元気に公開生放送!

ウォータースポーツ体験&多彩なブースで、琵琶湖の魅力満喫。

未来を担う子供たちも、障害のある方も。琵琶湖で盛んなウォータースポーツに、誰もが気軽に親しめるイベント「BIWAKO湖(うみ)フェス」が、9月24日(土)・25日(日)にびわこポートレース場で開催されました。イベントでは、ボート、カヌー、サップ、ウォーターチューバーのウォータースポーツが体験できるほか、滋賀発フードが味わえる飲食ブースも出展。子どもから大人まで、たくさん笑顔にあふれた2日間になりました。



さらに、KBS京都・海平アナが進行するステージイベントも開催。さまざまな催しが行われる中、ラジオの公開生放送も実施しました。24日(土)は「森脇健児のサタデースタジアム」(土/12時~13時※今季は同日で放送終了)、25日(日)は「ファミリーレストランのめっちゃうま！」(月/14時~17時)の休日スペシャルを公開生放送。賑わう会場の様子をラジオで生き生きとお伝えしたほか、来場者のみなさんとなごやかに交流し、イベントを盛り上げました。



おなじみサタスタの公開生放送。フェスの楽しさを元気に発信。

24日(土)は、主催者や三日月大造滋賀県知事らの挨拶を含むオープニングセレモニーで幕開け。続く劇団まちはろ座による演劇ステージの後、サタスタの公開生放送が行われました。



パーソナリティの森脇健児・かみじょうたけしのかけあいトークに始まり、ゲストコーナーへ。イベントを主催するNPO法人琵琶湖ローイングCLUB代表理事の小原さんと、公益財団法人日本財団海洋チームの荻上さんを迎えました。海を介して人と人がつながる「海と日本プロジェクト」の一環として開催されたこのイベント。そのプロジェクトを主催する日本財団のお話を聞きながら、湖フェスの楽しみどころを紹介し、イベントの趣旨や魅力が伝わる時間となりました。



さらに総合司会の海平アナが登場。女子プロ野球チーム、京都フローラの池山選手と矢野選手、わかさ生活のご担当者も招いて、賑やかな野球談議に花を咲かせました。女子プロ野球グッズがあたるくじや、スタンプラリーを実施中のわかさ生活ブースについても紹介。そして、あ



つという間にエンディング。プロ野球シーズンにあわせて放送するサタスタは、琵琶湖という最高のロケーションの中で、今季のオンエア終了を迎えました。

引き続きオフエートークをお楽しみいただいた後、伝統芸能やマジックショー、山のお友達によるハンドベルコンサートなどを開催。女子プロ野球選手と会場のキッズが対決するゲーム大会もあり、ステージは16時まで沸きました。

ファミレスとプリマ旦那で盛り上げた「めっちゃうま」スペシャル。

25日(日)は、劇団まちはろ座の公演の後、「内田あやJ-Country」(火/17時30分~18時)でおなじみのシンガー・内田あやのスペシャルライブをお送りしました。

そして12時から「ファミリーレストランのめっちゃうま in BIWAKO湖フェス」の公開生放送。パーソナリティのファミ



レスはもちろん、「プリマ旦那の今夜も嫁がナイト☆」(金/18時~19時, 19時30分~21時)のプリマ旦那、海平アナも加わって、賑やかにお届けしました。

「知ってるつもり?」や「あるある五七五」などおなじみのコーナーは、琵琶湖をテーマに展開。レポートタイムでは、プリマ旦那がウォータースポーツ体験コーナーに繰り出し、琵琶湖ローイングCLUBの小原さんや参加した子どもたちにインタビュー。楽しそうな体験の様子を、笑いっぱいにお伝えしました。また会場ブースからのレポートは、独身のファミレス・ハラダとプリマ・野村が担当。女心を理解するため、海平アナが喜びそうなグルメのチョイスに挑みました。滋賀フードの魅力とともに、二人の結婚観もあらわになるひとときでした。

また、嫁がナイトの名物コーナー「短歌で啖呵切り合戦」に、ファミレスとプリマ旦那の4人で挑戦。珍妙な短歌が詠まれるたびに、会場に笑い声が響きました。



笑いにのせて、湖フェスの魅力がほとばしった1時間。公開生放送終了後も、プリマ旦那のお笑いライブやキッズダンスステージ、お楽しみクイズ大会などをお送り、イベントを盛り上げました。

「海と日本プロジェクト」の一環として、琵琶湖を舞台に初開催された湖フェス。二日間で約3300名が来場し、琵琶湖の自然と魅力を、身近で体感いただいたイベントとなりました。